

月曜礼拝の法話『ほうおんこう しんらんさまはどんなかた』

1月の月曜礼拝ではお寺の本堂にほうおんこう（報恩講）としてお参りしました。報恩講はしんらんさまの亡くなられた日に合わせてしんらんさまの生き方をしのぶお参りです。しんらんさまをご紹介します。

☆見て見ぬふりができなかった

しんらんさまはとても正直な方でした。自分の中のいじわる鬼やわがまま鬼を見て見ぬふりができない方でした。どんなに優しくなろうとしても、そして立派なことをたくさんしても、本当に自分の心の中からいじわる鬼やわがまま鬼は無くならない、と気づかれました。

☆鬼を抱える私を見守ってくれる

そんなしんらんさまは、ほかの人に優しくならないといけない、立派にならないといけない、とは言いませんでした。むしろ、言えませんでした。優しくなりたいけど完全に優しくはなれない、そういう思いを抱えている人を、あなたもそうでしたか、と優しく見守ってくれる方でした。

みんなが月曜日の礼拝（らいはい）で歌っている「しんらんさま」の歌をうたってあげて、おうちの人にも聴いてもらってください。